

第5次総合計画基本構想の見直しについて

1. 第5次総合計画基本構想について

基本構想は、平成28年度から令和7年度までの10年間における、市民・関係団体・事業者・行政などすべての主体が共有する将来都市像と、その実現のためのまちづくりの指針となるものです。

2. 基本構想に関する修正について

■基本理念や将来都市像、まちづくりの方向とまちづくりを支える政策については、原則、大幅な見直しは行わないこととして、後期基本計画では『基本構想の概要』を示します。

■将来人口の見通しについては、基本構想の想定と実績との乖離が大きくなっているため、人口の推移や合計特殊出生率等の状況を踏まえ、見直しを行います。

(詳細は、別紙「第5次総合計画後期基本計画の人口推計について」を参照)

■グラフや表中の現状数値等について、直近データにより更新を行うとともに、年次の表記や文章表現などの必要な修正を行います。

3. 基本構想の変更について

基本構想は、地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例により、「策定、変更又は廃止」に関して、議会の議決を要することから、第5次総合計画基本構想について、平成27年9月25日に議決しています。

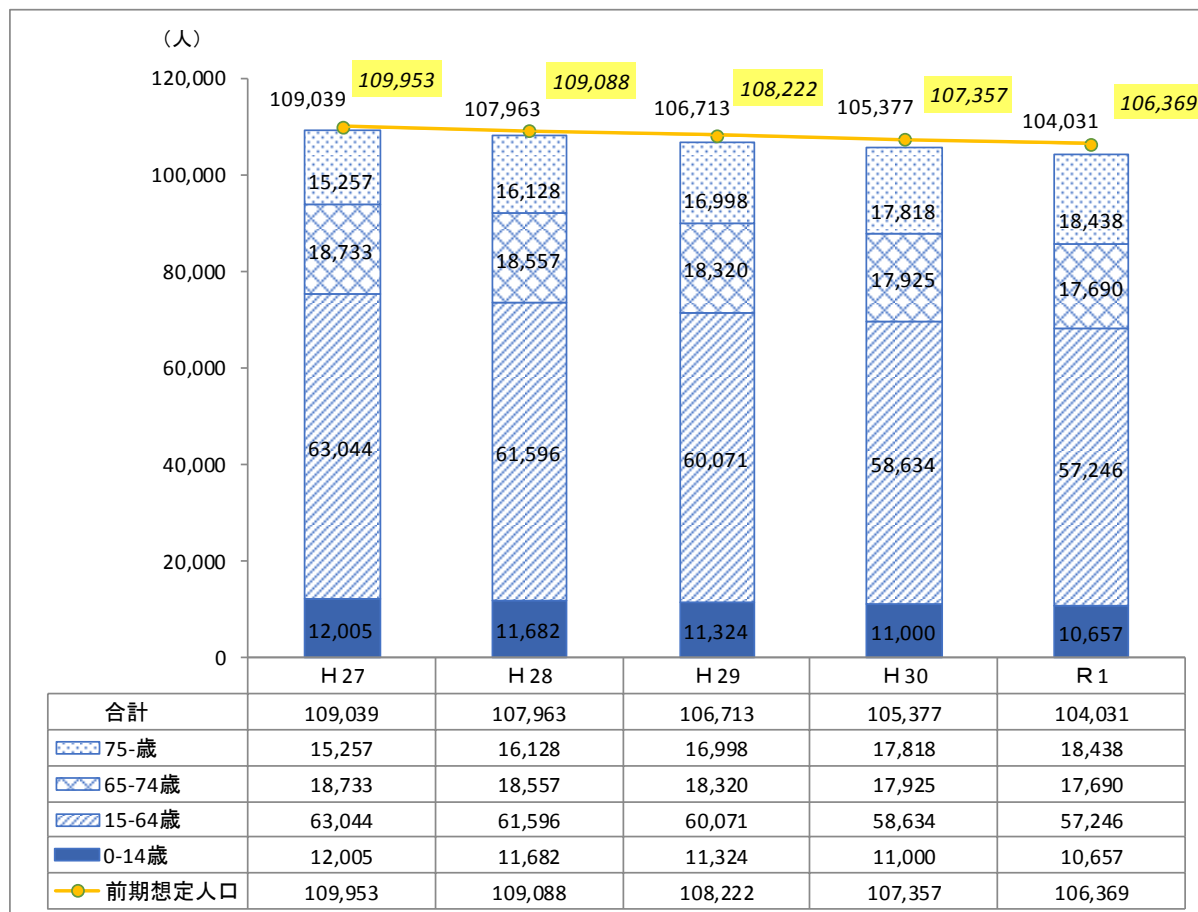
今回、将来人口の見通しの見直しを行うことから、第5次総合計画基本構想の変更について、令和3年3月市議会に議案を提出します。

第5次総合計画後期基本計画の人口推計について

1. 人口推移の実績

実績と前期基本計画で想定した人口の推移を比較すると、令和元年度で約2,300人下回っている。

年度	H27	H28	H29	H30	R1
実績	109,039	107,963	106,713	105,377	104,031
前期基本計画	109,953	109,088	108,222	107,357	106,369
差引	-914	-1,125	-1,509	-1,980	-2,338



2. 今後の推計（令和2年度から令和7年度）

令和元年度までの人口推移の実績を基に今後の人口を推計すると、令和7年度で95,160人と見込んでおり、前期基本計画で想定した人口目標「令和7年度で100,000人の定住人口」と比較すると、令和7年度で約5,000人下回ることとなる。

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績を基にした推計	102,581	101,130	99,680	98,229	96,779	95,160

■実績を基にした推計の条件

項目	条件		説明
合計特殊出生率	1.33 (R3-R7 平均)		1.24 (H25-H29 実績)
移動率	≪男性≫ 25-29 : -0.14 30-34 : -0.06 35-39 : -0.01	≪女性≫ 25-29 : -0.17 30-34 : -0.05 35-39 : -0.02	男女ともに25-29の層で大きく減少している
生残率	≪男性≫ 75-79 : 0.89 80-84 : 0.81 85-89 : 0.65 90-94 : 0.46 95- : 0.26	≪女性≫ 75-79 : 0.94 80-84 : 0.89 85-89 : 0.78 90-94 : 0.63 95- : 0.33	

3. 前期基本計画の人口目標を維持する場合の条件

前期基本計画で想定した人口目標と比べて、実績の人口推移は大きく下回っている状況であり、人口目標を達成するためには以下の条件の達成が必要となるが、それぞれの現状を考慮すると達成することが非常に困難な状況となっている。

■10万人達成条件と現状との比較

項目	10万人を達成する条件		現状	
合計特殊出生率	R7年に1.80		1.24 (H25-H29 実績) ※大阪府全体 1.37	
社会移動	全世代で均衡		600人減少 (令和元年度) ※過去5年間平均の692人減少	
生残率	府内トップレベル (男性：池田市、女性：枚方市)		府内トップレベルと比べ平均0.02ポイント低くなっている	
	≪男性≫	≪女性≫	≪男性≫	≪女性≫
	75-79 : 0.89	75-79 : 0.94	75-79 : 0.89	75-79 : 0.94
	80-84 : 0.81	80-84 : 0.89	80-84 : 0.81	80-84 : 0.89
	85-89 : 0.68	85-89 : 0.81	85-89 : 0.65	85-89 : 0.78
90-94 : 0.49	90-94 : 0.65	90-94 : 0.46	90-94 : 0.63	
95- : 0.27	95- : 0.36	95- : 0.26	95- : 0.33	

4. 後期基本計画に向けた条件設定及び人口目標について

後期基本計画における人口推移の条件として、国の取り組みや前期基本計画における条件設定などを踏まえ、以下のとおり設定し人口目標を決定する。

■後期基本計画の条件

項目	条件		説明
合計特殊出生率	R7年に1.63 (R12年に1.80)		国の長期ビジョン（R12に1.8程度【若い世代の結婚・出産・子育ての希望出生率】）に準じて、R12で1.80に設定し、段階的に上昇させる。
移動率	≪男性≫ 25-29：-0.07 30-34：-0.03 35-39：-0.01	≪女性≫ 25-29：-0.08 30-34：-0.02 35-39：-0.01	子育て世代（25歳から39歳）にかかる移動率を1/2に縮小する。 ※前期基本計画の条件と同じ
生残率	≪男性≫ 75-79：0.89 80-84：0.81 85-89：0.68 90-94：0.49 95-：0.27	≪女性≫ 75-79：0.94 80-84：0.89 85-89：0.81 90-94：0.65 95-：0.36	75歳から5歳ごとの各区分において府内トップレベル（男性：池田市、女性：枚方市）とする。 ※前期基本計画の条件と同じ

令和7年度における人口目標 約97,000人

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
後期計画（案）	102,874	101,717	100,560	99,404	98,247	96,949
実績からの推移	102,581	101,130	99,680	98,229	96,779	95,160
差引	293	587	880	1,175	1,468	1,789

■各種条件の比較

項目	現状 (自然体推計基準)	前期計画想定		後期計画想定	
合計特殊 出生率	1.24 (H25-29 実績) (R3~R7 平均 1.33)	R7 年に 1.80 (R3~R7 平均 1.7 程度)	1,080 人	R12 年に 1.80 (R3~R7 平均 1.63)	794 人
移動率	《男性》	《男性》	826 人	《男性》	575 人
	25-29 : -0.14	25-29 : -0.05		25-29 : -0.07	
	30-34 : -0.06	30-34 : -0.03		30-34 : -0.03	
	35-39 : -0.01	35-39 : -0.01		35-39 : -0.01	
	《女性》	《女性》		《女性》	
	25-29 : -0.17	25-29 : -0.06		25-29 : -0.08	
	30-34 : -0.05	30-34 : -0.03		30-34 : -0.02	
	35-39 : -0.02	35-39 : -0.01		35-39 : -0.01	
生残率	《男性》	《男性》	651 人	《男性》	420 人
	75-79 : 0.89	75-79 : 0.88		75-79 : 0.89	
	80-84 : 0.81	80-84 : 0.79		80-84 : 0.81	
	85-89 : 0.65	85- : 0.53		85-89 : 0.68	
	90-94 : 0.46			90-94 : 0.49	
	95- : 0.26			95- : 0.27	
	《女性》	《女性》		《女性》	
	75-79 : 0.94	75-79 : 0.94		75-79 : 0.94	
	80-84 : 0.89	80-84 : 0.88		80-84 : 0.89	
	85-89 : 0.78	85- : 0.61		85-89 : 0.81	
	90-94 : 0.63			90-94 : 0.65	
	95- : 0.33			95- : 0.36	
対自然体推計		+2,557 人		+1,789 人	